



来て/見て/住んで/  
**Yamakita**

# 議会だより

- 21年度当初予算 … P.2~3
- 審議結果 … P.4~5
- 常任委員会 … P.6~9
- 一般質問 … P.11~15

**No.157**

再生紙を使用しています。

# 平成21年第1回定例会(3月議会)

平成21年第1回定例会が3月5日から16日の12日間開催されました。主な議題は平成21年度の予算審議ですが、他に条例の制定3件、改正14件、人事案件1件、発議2件、平成20年度一般会計・特別会計の補正予算などが審議され、いずれも原案どおり可決されました。一般会計の歳入については、町税の減収や水源環境保全・再生交付金事業費の減に伴う減収などにより、1,344万7千円の減額となりました。

## 21年度当初予算

### 本会議での質疑

**岩本議員** 環境に配慮した生活スタイルの普及啓発で太陽光発電について町の長期的展望は。

**答弁** 地球温暖化防止対策の一環として環境推進協議会でも検討しています。

**小菅議員** 駅周辺魅力づくり検討事業は山北駅北側のことか。

**答弁** 山北駅及び東山北駅を含めての事業です。



整備が進められる東山北駅周辺

**小菅議員** 山北診療所管理運営事業には国からの補助金はあるのか。

**答弁** 21年度は特別交付税で22年度からは普通交付税で700万円程が入る予定です。

**池谷議員** パークゴルフ場整備調査費の内訳は。

**答弁** 旧山高跡地とハイソ&ヴィラながわの跡地の調査を考えています。

**杉本議員** 未登記路線の路線測量等登記が計上してあるが、今後の計画は。

**答弁** まだかなり未登記路線がありますので、毎年1件ずつでも進めていきます。

**湯川議員** 法人税を0.

4%の減としているが、もっと厳しいのではないか。

**答弁** 19年度決算が多かったのに対して30%減で見積りました。

**茂木議員** 町の公園等の安全面の配慮は。

**答弁** 町の諸施設について現状をよく見て回り対応します。

**本杉議員** 体外式除細動器の設置で公共施設には行き届いたのか。

**答弁** あと9箇所ほど予定しています。

**牧田議員** 物品購入などについて、予算の見積もりを複数の業者で行っていると思うが、町内業者だけか。

**答弁** 単価の面で町内業者と余りにも差がある場合には町外業者を採用する場合もあります。

### 討 論

商品券特別会計は一割のお楽しみ券を付け2,200万円の換金をする案が提案されました。

**反対** 湯川裕司議員

今回のプレミアム付商品券は販売金額の上限を1人10万円まで、1回限りとしているが、法人などが購入する場合は10万円以上もあるわけで、その根拠となる規定なり規則なりがなく、取扱で対応するのは行政として不適切であると考え反対します。

**賛成** 茂木 猛議員

今、世界的な不況の中、本家は町民の視点に立ち、将来に向けた町民のための施策と認め、枝葉末節部分での問題点をもってして反対の議論もあるかと思いますが、一刻も早く本案件が成立され正しく執行され、無益な混乱や遅滞なく町民のためにさらなる発展を願います。

**賛成** 岩本章治議員

現在の日本の状況、世界の状況、明るいニュースがありません。せめて山北町でプレミアム付商品券の販売ができることは明るいニュースの一つになると思います。10万円買い占める人もいられませんか。

が、限度額を10万円にして多数の方々に普及するわけで賛成します。  
討論を終了し採決の結果、賛成多数で可決。



商品券に上乗せするお楽しみ券

託、審査の結果全員賛成で了承され、本会議において全員賛成で可決。

### 山北町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例

介護従事者の処遇改善を目的とし、平成21年4月より、介護報酬の改定が実施されるのに伴い、介護保険料の急激な上昇を抑制させるため、介護従事者処遇改善臨時特例交付金が交付されることとなり、同交付金を管理処分等するため提案されました。福祉教育常任委員会に付託、審査の結果全員賛成で了承され、本会議において全員賛成で可決。

### 山北町企業等の立地促進に関する条例

山北町の企業立地を促進するため、新たに立地する企業に対して、固定資産税を5年間半額にする。また、従業員を新規に雇用する場合、300万円を限度として一人当たり20万円の雇用奨励金を交付するものです。総務環境常任委員会に付

## 条例制定

了承され、本会議において賛成多数で可決

## 条例改正

### 山北町課設置条例の改正

政策室を政策秘書課に名称変更し、定対策室を新設するものです。賛成多数で可決。

### 山北町個人情報保護条例の改正

統計法が改正され、現行の統計法を引用している本条例について改正する必要が生じたため提案され、全員賛成で可決。

### 山北町職員定数条例の改正

第5次行政改革大綱に基づき職員定数185を160に見直すものです。全員賛成で可決。

### 山北町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正

国における職員の勤務時間及び休暇等の運用が一部改正されたことに伴い町職員の勤務時間を8時間から

7時間45分にするものです。全員賛成で可決。

### 山北町職員の育児休業等に関する条例の改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い改正するものです。全員賛成で可決。

### 山北町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の改正

期末手当を町長20%、副町長15%減額する特例措置を実施するため提案され、全員賛成で可決。

### 山北町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の改正

教育長の期末手当を10%減額する特例措置を実施するため提案され、全員賛成で可決。

### 山北町職員の給与に関する条例の改正

平成21年4月からの地域手当を7.5%を6%への削減が提案され、全員賛成

で可決。  
山北町特別会計設置条例の改正

丹沢湖集水域へ町設置型浄化槽を整備拡張するに伴い、その円滑な運営と経理の適正を図るため、山北町町設置型浄化槽事業特別会計を設置するものです。全員賛成で可決。

### 山北町立山北第2児童館の設置及び管理に関する条例の改正

山北町立山北第2児童館の利用料金を、指定管理者である山北連合自治会第1ブロックが徴収できるようにするため提案され、全員賛成で可決。

### 山北町立向原児童館の設置及び管理に関する条例の改正

山北町立向原児童館の利用料金を、指定管理者である向原連合自治会が徴収できるようにするため提案され、全員賛成で可決。

### 山北町介護保険条例の改正

部改正により、介護保険料の改定等に関し提案され、全員賛成で可決。  
山北町立多目的集会所の設置及び管理に関する条例の改正  
山北町立平山集会所を平山自治会に無償譲与するため提案され全員賛成で可決。



地元に移譲された平山集会所

### 山北町平山地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の改正

産業地区の燃料貯蔵の制限緩和及び建築物の制限の追加を提案され全員賛成で可決。



議案 番号	議 案	議員名（議席順）	結果	佐藤	湯川	川村	熊澤	池谷	石田	杉本	本杉	茂木	瀬戸	岩本	牧田	小菅
				光男	裕司	俊治	友子	荘次郎	進二	君雄	博是	猛	恵津子	章治	礼二	光雄
28	平成 20 年度山北町三保財産区特別会計補正予算（第 3 号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	平成 20 年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	平成 20 年度山北町商品券特別会計補正予算（第 2 号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	平成 20 年度山北町水道事業会計補正予算（第 2 号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	平成 21 年度山北町一般会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	平成 21 年度山北町国民健康保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	平成 21 年度山北町老人保健医療特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	平成 21 年度山北町後期高齢者医療特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	平成 21 年度山北町災害給付見舞事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	平成 21 年度山北町下水道事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	平成 21 年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	平成 21 年度山北町山北財産区特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	平成 21 年度山北町共和財産区特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	平成 21 年度山北町三保財産区特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	平成 21 年度山北町介護保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	平成 21 年度山北町商品券特別会計予算		可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	平成 21 年度山北町水道事業会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	指定管理者（公募施設）の指定について		可決	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○
46	指定管理者（非公募施設）の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	山北町固定資産評価審査委員会委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 1	山北町議会議員政治倫理条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 2	山北町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、●は反対を表しています。細川哲郎議長は、採決に加わりません。

# 委員会審査報告

## 総務環境常任委員会

- 委員長 川村 俊治
- 副委員長 湯川 裕司
- 委員 石田 進二
- 同 本杉 博是
- 同 茂木 猛
- 同 岩本 章治
- 同 牧田 礼二

総務環境常任委員会では、山北町企業等の立地促進に関する条例、山北町丸山地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例、平成21年度山北町一般会計予算、特別会計のうち災害給付見舞事業、下水道事業、町設置型浄化槽事業、山北財産区、共和財産区、三保財産区、商品券特別会計及び平成21年度水道事業会計予算を審査しました。

### 一般会計

**石田委員** 林道の新設工事が入っているが、山北町は、ほとんどの林道が利用されてなく、秦野畔林道や玄倉林道、浅瀬の林道などは封鎖されている。

**政策室長** 林道の新設工事は玄倉林道の青崩れトン

ネルの整備で、県としても早急に手をつけていきたいということから、道整備交付金の制度を活用するものです。また、通れない林道については、県に要望を上げていきたいと考えています。

**本杉委員** 3つの視点の一つである定住総合対策について、具体案の説明を願いたい。

**政策室長** 企業誘致や山北駅、東山北駅周辺の魅力づくり、人口対策としての町営住宅の整備などを検討していきます。

**本杉委員** 町外の人達に山北町の取組みを知らせるため、御殿場線や246号沿いにキャッチフレーズなど新しい取組みをPRするものを掲げる必要と考えるかどうか。

**町長** ホームページや看板などを設置し、PRしていきたいと考えます。

**茂木委員** 足柄上地区地下水モニタリング施設整備負担金について、各市町の負担金割合と、なぜ県が直接事業を行わないのかについて伺いたい。

**政策室長** 地下水モニタリングは、県の水源環境保全再生事業の一つで、足柄上地区全体で、地下水の保全対策を行うことで計画書を策定した中で、負担金を出して実施します。負担割合は、山北町、開成町、大井町、松田町は同程度の金額で、中井町は大きく、南足柄市は少なくなっています。

**石田委員** 中山間地域総合整備事業で日向地区に地域住民の活動、交流の場として活性化施設の整備推進とあるがどういうものか。

**産業観光課長** 平成21年度で日向地区に活性化施設を整備するものであり、建物の面積は120.0㎡程度です。内容は地域住民の活動の場、特産品の開発の場、みかんオーナー制度などの都市住

民との交流の場、さらにはハイカーの休憩場所として整備する予定です。

**石田委員** 県立山北つぶらの公園の進捗状況はどのようなになっているか。

**都市整備課長** オオタカの営業が確認されたため、当初計画から大分遅れています。21年度中に第一期工区内の用地取得を完了し、22年度から工事に着手する予定です。



治山工事が行われている洒水の滝

**石田委員** 洒水の滝の治山工事は、今年度で終わるが具体的にどこまで洒水の滝が見学できるのか。

**産業観光課長** 洒水の滝は、平成19、20、21の3年間で治山工事を実施しています。最終的には洒水の滝の

碑まで行けるようになり、昔からある観瀑台まで行けなくなりそうです。危険が伴うため治山工事の条件として、2番目の橋を撤去する予定です。

**牧田委員** パークゴルフ場の調査費について、旧山高跡地とハイツ&ヴィラ跡地が候補として上がっているが、どちらを優先するか。

**政策室長** 中川のハイツ&ヴィラは22年度に建物除却工事の予定です。跡地利用について、町の考え方を示す必要があります。旧山高跡地は、地元の要望が大きく、21年度に同時に検討を進めていく考えです。

2つの場所の性格が異なるので、一概には言えませんが、スピードから言えば、旧山校跡地で、18ホールの整備ができるのであれば、22年度中に完成させるつもりで進める。中川については、決定しているわけではない。

**湯川委員** 定住総合対策の山北駅北側定住対策調査の詳細は。

**政策室長** 今まで、山北駅北側については、住宅を含めていろいろな調査を行っています。新年度から、あらためて地元の意見を聞きながら、定住対策室において調査を行っていくこととなります。

**湯川委員** 町営山下住宅公共下水道代替工事について、詳細をお聞きしたい。

**都市整備課長** 町営山下住宅は、公共下水道の本管は整備済みであり、宅内にある桝との接続になります。町営住宅は汲み取り式なので、早急に切り替える必要があります。山下住宅10棟のうち、21年度に5棟、22年度に残りの5棟を行う予定です。

**湯川委員** 森林館の指定管理者が撤退して環境整備公社になると聞いているが、委託料は増えるのか。委託料を見直して観光の目玉にするのを、町か環境整備公社でやる考えはないのか。  
**産業観光課長** 指定管理料の増額予定はありません。環境整備公社の指定管理期間は1年間とする予定です。

森林館の活用をどのようにするのかは平成21年度中に方向性を出したいと考えます。

**湯川委員** 急傾斜地崩壊防止事業があるが、山北町ではそういう場所が多いが、実施する順番の基準はあるのか。

**都市整備課長** 急傾斜地崩壊防止事業の採択基準があります。町全体としての予定、順番はありません。事業実施に当たっては、県松田土木事務所が地区要望等を考慮し、実施しています。

全員賛成で原案どおり了承しました。

### 特別会計

#### ■ 下水道事業

**牧田委員** 下水道特別会計への繰入金金が1億7,000万円あるが、この内容等はどうなっているのか。

**企画財政課長** 一般会計から下水道特別会計への繰

り出しについては、国で定めた繰り出し基準があります。地方交付税のなかで下水道の起債にかかる元利償還金として1億円、流域下水道建設工事負担金が約1,300万円、さらに雨水の処理にかかる経費についても、一般会計から繰り出し

するもので、合計では、約1億2,000万円となります。5,000万円ほど繰出しが多くなっておりますが、これは財源不足を補うもので、やむを得ず繰出すものです。

**川村委員** 下水道特別会計は受益者負担が前提であると思うが、接続率を上げ、使用料収入を確保する努力が必要だと考えるがどうか。

**生活環境課長** 今後、広報等を活用して接続率を上げていきたいと考えています。

**川村委員** 広報活動をして

ても、現在使用中の浄化槽の寿命などから接続率は限界があるのではないかと。接続しない理由を細かく調査しているか。

**町長** 調査する必要はあ

るので、今後担当とつめていきたい。



設置が始まった浄化槽

#### ■ 町設置型浄化槽事業

**茂木委員** 町設置型浄化槽会計が21年度から始まりませんが、歳出額に対する予備費の割合が大きすぎないか。3,700万円もの予備費があるにも関わらず、利用者から分担金、使用料を徴収するのか。

**生活環境課長** 予備費に

ついては、県より5年分の維持管理費として今年度設置30基分の1,500万円と来年度予定の50基分の2,500万円が入りますが、浄化槽維持管理費は、法定

検査・清掃・保守点検等であり、20・21年度の使用が少ないため残額を予備費に充当したので金額が多くなっています。将来はこの予備費を取り崩し維持管理費に充当していきます。

全員賛成で了承しました。

#### ■ 財産区

**岩本委員** 財産区会計において、自然保護奨励金の制度が変わり、枝打ち・間伐

等の森林整備を実施しなければ自然保護奨励金が交付されなくなったが、各財産区に枝打ち、間伐の予算が計上されていないのはなぜか。

**総務防災課長** それぞれの山林の枝打ち、間伐は、年度計画に基づいて実施しています。平成21年度につきましては、たまたま各財産区に該当する山林がなかったことによるものです。

全員賛成で了承しました。

#### ■ 商券

**湯川委員** 10万円の上限は法人が買う場合もあてまるのか。

**町長** 今回のプレミアム付きは経済対策の観点から町民の方々を前提としています。企業が大量に買うと本来の趣旨からはずれてしまうので、町民のためとときちんと説明すればご理解いただけると思っています。

**川村委員** 敬老祝金の配布は10万円を超えると思うがどうなるのか。また、年度末で売れ残ったらどうするのか。

**産業観光課長** 敬老祝金にはプレミアムは付けません。また、売れ残るとは考えてなく売り切る予定です。賛成多数で了承しました。

**災害給付見舞事業特別会計** 予算については質疑がなく、全員賛成で了承しました。





# 福祉教育常任委員会



- 委員長 池谷 莊次郎
- 副委員長 杉本 君雄
- 委員 佐藤 光男
- 同 熊澤 友子
- 同 瀬戸 恵津子
- 同 小菅 光雄
- 同 細川 哲郎

福祉教育常任委員会では、山北町介護従事者処遇改善臨時特別基金条例、平成 21 年度山北町一般会計予算および国民健康保険事業、老人保健医療、後期高齢者医療、介護保険事業の各特別会計を審査しました。

## 一般会計

### 小菅委員 山北診療所の

管理運営委託料については、国から無医村や過疎地に対する交付金が出ると聞いているが、その交付金は、直接地域医療振興協会に入るのか。

**副町長** 当町は、無医村や過疎地に該当しませんが、20 年度と 21 年度は特別交付税として交付して頂き、22 年度からは、21 年度の実績をみて、普通交付税に算入されます。診療報酬と費用

との差額が 1,000 万円になった場合には、交付税として町に 700 万円入るので、町の負担は 300 万円となります。

地域医療振興協会には、交付税の算定基準に基づく 700 万円は管理運営委託料として支払うこととなります。

**小菅委員** 職員の体制は、どうなっているのか。

**健康づくり課長** 職員体制は、医師 1 名、看護師 1 名、事務 1 名と非常勤として看護師 1 名、事務 1 名です。現在、事務員はまだ慣れていませんので、振興協

会から 21 年度も引き続き指導してくる予定です。

**小菅委員** 前院長は、診療所にも関わらず、患者のカルテを持って行ってしまった。診断カルテを返してもらえないか。

**健康づくり課長** 後任が決まらなかったため引継ぎもできなかったと思います。本人の希望があれば診療状況を紹介してもらえと思っていますが、町が直接お願いすることはできません。

**瀬戸委員** ファミリーサポート事業の内容を説明願いたい。  
**福祉課長** NPO 法人の

マミーが行っておりますが、月平均 18 人くらいが利用しており、預かり会員が 34 人です。町からの助成は 85 万円です。

**瀬戸委員** ボランティアは有償ボランティアのことですか。

**福祉課長** ファミリーサポート事業は全国的に有料でのサービスとなっております。

**熊澤委員** 母子保健健康診査委託料は、5 回から 14 回になるが、健診費用は完全無料化になるのか。

**健康づくり課長** 妊娠個々の妊娠状況により、健診項目や費用が異なりますので全額補助ではなく、限度額を決めた補助券を 14 回配布します。

**杉本委員** 各学校間での夜間警備委託料の違いは何か。

**学校教育課長** 各学校に防犯センサーが設置されていて、異常があった場合、警備本部に連絡が入り 30 分以内に現場に到着するシステムになっています。また、契約料はそのセンサーの数

によって違います。

三保地域は 30 分以内で現場に行ける会社は、本予算額の会社しかありませんでした。

**杉本委員** 契約はどのようになれるのか。

**学校教育課長** 1 年ずつ

の契約ですが、会社を変えると機械の設備のやり直しになり委託料が上がるので、継続して契約しています。

**佐藤委員** 今年度の予算には幼稚園のエアコンは入っていないのか。

**学校教育課長** 幼稚園・保育園との調整の中で今回は見送っております。

**副町長** 0〜2 歳児のいる園に設置しましたが、小さい子どものいる園から順次整備していく予定です。

**佐藤委員** 非常勤職員賃金と臨時職員賃金とありますが、どのように区別しているのか。

**副町長** 自治法上両方が使われていますが、統一を図る必要があるため、今後は見直しをします。

**小菅委員** 放課後子どもプラン推進事業の学童保育

については、啓発等を行っているのか。現在何名いるのか。

**生涯学習課長** 学童保育については、民設民営で 1 箇所が運営しており、毎年広報紙で募集を兼ねた啓発を行っています。

受入可能人数は 30 名で、現在の待機児童は 2 名です。

**小菅委員** 現在の施設では狭いと思われるかどうか。待機児童を無くすよう町で援助する考えは。

**生涯学習課長** 現在は 10 畳程度の部屋で保育しておりますが、民設民営のため話し合いを持ち検討していきます。

**小菅委員** 学童保育補助金 200 万円の内容はなにか。

**生涯学習課長** 指導員の賃金に対して助成しています。

**瀬戸委員** 放課後子ども教室の実施と、多目的に使用できる余裕教室はあるのか。

**生涯学習課長** 放課後子ども教室については、平成 21 年度で前向きに考えてい

きます。

学校教育課長 学校にはフリーの教室はありませんが、放課後は児童がいないため検討していきます。

瀬戸委員 健康づくりポイント事業及び講師謝金はどのようなものか。

健康づくり課長

健康づくりポイント事業の目的は、町民が日々、体を動かす習慣をつけることです。ポイントの対象となる1つ目として「ウォーキング」を30分以上行った場合は1ポイント、1時間以上行った場合は2ポイント。2つ目として「私の取り組み」としてラジオ体操、犬の散歩など、毎日の目標を4項目まで決め、日々2項目実施できた場合には1ポイント。3つ目として町等の健診、健康づくり行事へ参加した場合には1ポイントになります。記録用紙を希望者に配布し『健康ノート』に自分自身でチェックし、400ポイントでさくらの湯利用券、500ポイントで山北町商品券、700ポイントでぶなの湯の入浴券など

と交換できます。また、講師謝金については、効果的なウォーキング方法の講習会を2回開催する予定です。

全員賛成で原案とおりました。

全員の賛成で原案とおりました。

特別会計



健康町民を目指して行われる特定健診

国民健康保険事業

杉本委員 特定健診につきまして、平成21年度の目標受診率、人数は何名か。

町民課長 平成20年度の

目標率が30%で785名、平成21年度は目標率が40%で1,017名です。

細川委員 国民健康保険事業は、平成21年度当初予算を編成した段階での基金の状況はどうか。

町民課長 3月補正後に2,000万円を基金に積み立てるので、1億7,020万円となる予定です。

細川委員 国民健康保険の基金が3年後には、無くなる状況ではないかと思いますが、今後の見通しは。

町民課長 基金につきましては、平成21年度は4,695万円を当初から取り崩しをして運営しなければいけない状況となっています。国から、各市町村の国保運営が厳しい状況がありますので、後期高齢者医療制度と同じように都道府県単位で運営したらどうかとの話があり、そういう方向に進んでいくと思っています。

細川委員 国保の広域化については、各自自治体の動きはどうか。

町民課長 近隣では、都道府県単位の運営にしてい

ただきたいと、県へ要望をしている状況です。

池谷委員 保険税の滞納で保険証が出せない状況はありますか。

町民課長 原則1年以上の滞納で資格証の交付と定められています。町では定期的な収納を促進する意味で、73名の方が1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月の短期証で対応していて、資格証での対応は現在ありません。

老人保健医療特別会計予算については質疑がありませんでした。

後期高齢者医療

池谷委員 負担金の割合見直しの動きはあるか。

福祉課長 保険料の見直しは2年に1回で、平成21年度は見直しの時期となっております。町村会から均等割の見直し要望書が広域連合長へ提出されました。

介護保険事業

業所の介護従事者の不足状況はあるのか。

福祉課長 最近では不足しているという話は聞いていません。

瀬戸委員 通所介護予防のホームヘルパーの賃金が大幅に減っているが何故か。

福祉課長 転倒骨折予防教室委託料について、足柄リハビリテーションに理学療法士など一部専門的な部分の委託を考慮しておりますので、減額となります。

瀬戸委員 介護予防教室参加者送迎委託料が大幅に

増えているが、何故か。

福祉課長 今までは看護師とか職員が送迎をしていましたが、21年度は社協への全面委託に切替えました。

熊澤委員 介護予防普及啓発事業で、水中運動教室の開催数は。

福祉課長 水中運動教室については自主サークル化を除き、年15回を予定しています。

各特別会計を採決の結果、全員賛成で原案とおりました。



自立した生活を維持するための介護予防教室

# 人事案件

## 山北町固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴い、再任の提案があり、全員賛成で同意しました。

武尾 昌則氏 山北町谷ヶ

# 発議

## 山北町議会議員政治倫理条例の制定

山北町議会議員が関係した町民に対する名誉毀損被疑事件を踏まえ、不祥事の再発防止と議員一人ひとりがその職責の重さを自覚して厳正な政治倫理に徹し、町民の信頼を失うことのない公正な議員活動に取り組むことを目的として制定しました。

平成20年の3月議会で議員政治倫理条例の制定に関する特別委員会(委員長佐藤光男、副委員長川村俊治、池谷荘次郎各議員)を設置し検討してきました。

## 政治倫理基準は

(1) 公人としての発言、情報発信(議会報告、インターネット等)において町民の名誉を毀損し、人格を損なう行為をしてはならない。

(2) 常に人格と倫理の向上に努めなければならない。

(3) 町が発注する請負契約や物品購入において特定業者が有利になる推薦、紹介をしてはならない。

(4) 議員が業務に実質的な支配力を持つ場合、町との請負契約、物品納入、業務委託の契約をしてはならない。

(5) 町職員の採用に関し、公正を欠く働きかけをしてはならない。

(6) 権限により町職員の職務を妨げ、不正にゆがめる働きかけをしてはならない。

(7) 町職員の人事に関し、不正に関与してはならない。  
(8) 町から補助金、助成金を受ける団体、組織の代表者になってはならない。  
の8項目です。

倫理基準の違反があることが証拠の書類を添えて議

長に提出されたとき、議長は審査会を設置して調査を依頼します。

審査会で倫理規定違反が認められたときは、本会議に諮り次の措置をとります。

(1) 当該議員に対する辞職勧告。

(2) 倫理基準を遵守させるための警告。

(3) その他必要と認められる措置。

全員賛成で可決。

## 山北町議会委員会条例の改正

山北町課設置条例の一部改正に伴い、山北町議会委員会条例の所管事項を変更するため提案され全員賛成で可決。

# 補正予算

## 平成20年度

## 一般会計

4,301万5千円を増額

歳入の主なもの、地域活性化・生活対策臨時交付金

などの国庫支出金6,043万円などであり、歳出の主なもの、向河原橋改良工事や上本村住宅撤去工事などであり、全員賛成で可決。

## 水道事業会計

水道使用料の減額に伴い提案され、全員賛成で可決。

## 特別会計

国民健康保険事業特別会計、老人保健医療特別会計、下水道事業特別会計、山北財産区特別会計、三保財産区特別会計、介護保険事業特別会計  
全員賛成で可決。

## 第1回臨時会(1月30日開催)

専決処分承認について、昨年の12月末に共和地区の町道の法面が崩落したため復旧費を予備費から充用したものです。

## 第2回臨時会(2月19日開催)

一般会計補正予算は定額給付金並びに子育て応援特別手当交付金を支給するために必要な事務費と事業費を増額補正するものです。  
全員賛成で可決。

平成20年度中山間地域総合整備事業浅間山農道整備工事請負契約の変更で工期の延長と工事区間の延長が提案され全員賛成で可決。

平成20年度滝沢・高松作業道整備工事(第一工区・第二工区)の請負契約の変更で丸太伏工の追加並びに植生マットの岩盤用の費用を追加する案が提案され全員賛成で可決。



今後も整備が続く浅間山農道

一般質問

※質問者本人が  
原稿を作成し  
ています

森林の活用

杉本 君雄議員



Q ▶ 山林を無償貸与で都市交流を

A ▶ 地域と協議して推進します

町域面積の約9割を森林が占めており、豊かな自然環境に恵まれています。最近では、自然やゆとりの志向が高まり、美しい自然景観や環境の価値が再認識される時代でもあります。森林資源を活用し、自然と都市機能が調和する活力のあるまちづくりが必要であります。

質問 山林を無償貸与で都市交流を。

答弁 森林を都市部の方々に貸与することは、都市地域との交流が推進されひいては住民福祉の向上や特産物の販売につながり、地域振興を図るには大変重要なことと考えていますので、今後は財産区や地域住民と協働で推進したいと考えております。

質問 いつ協議するのか。

答弁 上半期に、協議したいと思っています。

質問 森林セラピーの導入で都市交流を。

答弁 森林セラピー基地の認定を見据えた中で、今後の推進方針や整備構想を検討し、河村城址、酒水の滝エリアを重点ゾーンとして設定しました。健康福祉センターを起・終点とした河村城址までのコースをモデルコースと設定し、コースの整備方針や整備上の課題整理を行いました。

質問 推進日程は。

答弁 平成21年度は、モデルコースの整備を行うとともに、推進体制の検討や森林セラピー基地認定の準備、申請を行う予定です。平成23年4月に認定を取得する考えです。

質問 森林セラピーロードは何コースを目指すのか。

答弁 モデルコースの他に丹沢湖周辺と大野山周辺の2コースを考えています。

質問 森林セラピー予算の1,000万円は何か。

答弁 モデルコース河村城址周辺約400メートルの整備費と認定取得に伴う調査研究費です。

経済対策

岩本 章治議員



Q ▶ 不景気に対する現況は

A ▶ 国の支援指示はありません

質問 米国発の金融危機から景気低迷が続いています。国の補正予算・新年度予算・関連法案が可決されなければ、町も確実な動きは取れないが次の事を伺います。

定額給付金の準備及び給付予定については伺いましたが、国では、社員(職員)を雇用した企業等に対し、奨励金支給を検討されているようであるが、町には取り組み指示が来ているのか。その外に支援策があるのか。

また、派遣社員等、町にあっても何人かの影響は出ていると推測するが、就業形態の把握は出来ていますか。更に生活保護費、母子家庭支援等の申請状況も増えていると思われるが現況を伺います。

答弁 国と県は独自に対策を講じており、町には指示はありません。厚生労働省では、内定取り消し対策として、正規雇用者一人当たり大企業で100万円、中小企業50万円を盛り込んでいます。就業形態の詳細は

把握出来ていません。

町は運転資金融資を受ける際の信用保証料補助及び町内の消費拡大を図るためプレミアム付き商品券発行の予算を計上しています。

生活保護・母子家庭支援状況は大きな変化はありません。今後も親切丁寧に対応していきます。

質問 商工業への信用保証料の補助は分かったが、農家への支援対策はあるのか。

答弁 原油の高騰がこれ以上続けば対策を講じる必要がありますが、原油が下がってきているので様子を見ている状況であります。また、国の第6次対策や県の各種支援策が計画されているので、こうした状況を見極めた中で、導入出来る事項を調べ努力します。

質問 今後、学費や給食費が払えない家庭も出ています。奨学金の増額も視野に考えていますか。

答弁 町の財政状況を勘案しながら対応していきます。



熊澤 友子議員

## 生活環境

**Q 質問 ▶ 町内循環バスの乗車料金改定について**

**A 答弁 ▶ 小学生の無料化は考えていません**

**質問** 小学生の通学時における防犯のために循環バスを利用しやすくすることについて伺います。現在、小学生の運賃は50円となっているが、無料にしてみてもどうか。

**答弁** 改善を重ねた結果多くの児童が利用しており、循環バスはスクールバスという位置づけではなく、50円という料金は高額ではありませんので、無料化については考えておりません。

**コミュニティバスについて**

**質問** 本町には、交通の不便な地域があり、山間地に住んでいる高齢者にとっては、生活のための交通手段がないに等しい状況です。町導人によるコミュニティバスの運行の考えは。

**答弁** 財政状況や地域バランス等を考慮した中、現状では町営コミュニティバスの導入は難しい。地域住民主導型のコミュニティバスが運行される場合は、町として支援を検討したい。

**質問** 学校統廃合が行わ

れば、スクールバスをコミュニティバスとして活用すると答弁しているが、コミュニティバスをスクールバスとして活用していく考えは。

**答弁** 学校統廃合はすぐには結論が出ないが、費用負担の検討はしてみます。

**公園トイレ利用者への安心確保策について**

**質問** 清掃及び補充は委託された業者が行っていますが、翌日にはペーパーがないことが続いたそうです。モラルに欠けた方、それを知って心を痛めた方、不由された方がいたという現実です。対策を伺います。

**答弁** 警察や防犯指導隊にさらなる協力をお願いするとともに、町職員による定期パトロールの回数を増やします。

**質問** どこが管理しているかを表示していく必要があると思うがどうか。

**答弁** 必要に応じて表示を検討していきたい。



茂木 猛議員

## 人口対策

**Q ▶ 農業での定住人口増を**

**A ▶ それには国家戦略が必要**

**質問** いま、派遣切りなど全国的な失業者の増加で雇用・就労情勢も深刻さを増しています。その一つの解決策、就労の場として農業が話題になっています。しかし、きょう種を蒔けばあした収穫できるような簡単な仕事ではありません。山北町に限らず、現状を維持しようにも農業の担い手の高齢化が進み、食糧自給率の向上もままなりません。

**質問** そんな中、第4次総合計画の後期基本計画における定住人口をふやす取り組みについて質問します。

**答弁** 工場誘致など、第2次産業の振興策とともに、山北町の農業の将来を考えると、今まさに新たな担い手としての定住人口の増加、環境の保全など長期的な視野に立った具体的な農業政策が必要と考えますが、町長の考えを伺います。

**答弁** 農業は町が振興すべき基幹産業であり、当町の農家の60%が65歳以上です。担い手不足、耕作放棄地の増加や圃場整備による大規模化が困難な状況

などにより、農業をとりまく環境は非常に厳しい状況であり、平地ではできない作物や、鳥獣害被害を受けにくい作物の導入を図るため、県農業技術センターやJAと連携し、農業所得の向上に寄与していきたい。

**質問** 例えば20年後には何歳ぐらいの方が割合かという農業ビジョンが必要ではないか。

**答弁** 日本の農業全体として生計が立てづらい経済構造になっている中で、国家戦略として農業の未来像を示し、自給率向上の具体的計画を策定し、地方にまで割り振ってやるぐらいの綿密な計画が必要と考えます。林業についても同様であり、各自自治体毎の取り組みでは、根本的な解決はできないと考えられています。町として一生懸命でできることはやりますが、残念ながらそれにはおのずと限界があります。





池谷 莊次郎 議員

## 生活環境

**Q ▶ 町立山北診療所への患者送迎について**

**A ▶ 町と地域が一体となつての検討を考えている**

**質問** 町立山北診療所が昨年12月に開院し、地域住民は心より歓迎するところにも、期待するところです。

しかし、地域も高齢化が進み、交通の便も悪く通院できないとの相談があります。

地域医療の観点から送迎の出来る体制を早急に築く考えは。

**答弁** 診療所の再開に当たり、関係各機関のご協力によるものと感謝します。

往診による在宅診療の早期実施について、地域医療振興協会と相談した結果、診療所での診療に万全を期しているので、しばらくお待ちくださいとのことであります。望月先生は赴任前より在宅診療の希望を持っており、体制が整い次第実施したいと考えております。

送迎バスの運行については、費用等の面から難しいと思われまふ。共和地区福祉バスのように、地域からの要望に対して町は助成しますので、町と地域が一体となって課題を検討していきたいと考えています。

定期バスの運行について富士急湘南バスに、午前11時の時間帯の運行を要望していきます。

景気後退による行政のできる支援策は

**質問** 景気後退により、町内の事業所でも長時間の操業短縮を余儀なくされている。

山北町を預かる町長として、生活に困っている方々に対しての支援の考えがあるか。

**答弁** 町内事業所に関しても、受注量の減により自宅待機や時間外勤務の完全廃止の情報もあります。多くの家庭において収入は減少し、大変苦しい家計になっていると思われまふ。

町としては、国の緊急経済対策に係る各種交付金や補助金を最大限に活用した事業に取り組む準備をしています。

今後町広報やホームページにより、支援制度の周知を行い、広く町民にお知らせしていきます。

## 高齢者福祉

**Q ▶ 高齢化率 27.2%の本町の課題は**

**A ▶ 多様なサービスの提供が目標です**

**質問** 第4期高齢者福祉計画の考え方は。

**答弁** 一人暮らしや高齢者のみの世帯が5割を占めるので、とじこもりや寝たきり予防の観点から、積極的に外出活動ができるか等要介護度により多様なサービスの提供が課題です。

**質問** 介護予防事業で行っている塾でヘルパーが足りなくなったと聞くが潜在的な有資格者の活用は。

**答弁** 募集したがいないかったので、保健師とボランティアとで対応しました。21年度にむけて再募集等をかけていますが、足りない分は介護事業所へ委託します。

**質問** 火災報知機の設置

は23年度には既存の家屋も設置と決まっているが、高齢者や障害をお持ちの方を対象に助成の考えは。

**答弁** 支援を検討します。

**質問** 外出支援サービスの現状は。

**答弁** 19年度は月35回、送迎を行い20年度は今現在月30回です。

**質問** 介助ボランティア

をつけての外出となるが。

**答弁** 一人暮らし世帯では介助者がいないので9名のボランティアで行っています。今後育成を図ります。

**質問** 障害をお持ちの方にとって歩き易い道路についての考えは。

**答弁** 20年度は駅南側の歩道を車椅子の走行性を良くするため、歩道を切り下げフラットにしました。駅前の誘導用ブロックは早急に改良します。

**質問** 社会福祉協議会への委託事業が多いが町との関係はどのように考えるか。

**答弁** 人件費分として2千万円強の補助を行っているので、非常に強い連携が必要と思う。

**質問** 助成金をだしているのに、例えば人事に対しても指導するのか。

**答弁** ケースバイケースです。年限が長い方や不適切な行動があったりした場合には、民間だからといって口を出してはいけないという事はないと思う。



瀬戸 恵津子 議員



湯川 裕司議員

## 人口対策

### Q ▶ 人口減少に歯止めを

### A ▶ 定住総合対策事業大綱に沿って進める

**質問** 山北町では毎年100人から1500人の人口減少が見込まれている。人口減少問題解決の優先順位は。

**答弁** 定住総合対策事業大綱に沿って企業誘致の促進と、町内在住者の雇用対策、商業施設の誘致、町営住宅や民間分譲住宅整備を積極的に行います。

**質問** 町の課題として20代の転出が多いので、その年代に絞った町営住宅の建設をすべきでは。

**答弁** 老朽化が一番激しい、低所得者向けを優先すべきと考えていますが、定住総合対策にかかると、民間業者の建設も含め両建ての進捗を考えているところがあります。

**質問** 今後働き盛りの人が転出すると、2〜3年後に急激な人口減少が懸念される。民間宅地の優遇措置の考えは。

**答弁** 状況を見ながら必要なものについては柔軟に対応していきます。

**質問** 今回の解雇や派遣切りの社会問題に対しては

雇用保険の対象にならない人を重点に雇用促進を支え

**答弁** 正社員、派遣、臨時を含めそれぞれの家庭に伴い事情が違っているので、重点的に絞らないで、できる限りの応援を考えています。

**質問** 国の第2次補正予算のうち、地域活性化生活対策臨時交付金は本来の目的である農林水産再生や地域産業活性化に使われないのか。

**答弁** この緊急事業については、総合計画に位置づけられ、かつ多額の経費を要し、国・県の補助対象とならないものを優先順位としました。

**質問** ふるさと雇用再生特別交付金及び緊急雇用創出事業交付金の具体的な実施は。

**答弁** 国が県に交付し、これを元に県が基金をつくり、市や町と協力して3年間の事業を実施するもので、今後の予定として、6月から9月議会に補正予算として提案し、事業化をします。



川村 俊治議員

## まちづくり

### Q ▶ 東山北駅周辺整備の推進状況は

### A ▶ まちづくりの方向性を出した

**質問** 向原バイパス工事と付随する町道中里線、人道ボックス工事は予定通り進んでいるか。

**答弁** 国交省とJRの調整が手間取り22年3月完成は難しい。日程は21年度工事説明会で明らかにしていく。

**質問** 20年度予算で東山北駅周辺の調査費を計上しているが、現況調査と課題抽出はできているか。

**答弁** 駅前整備だけでなく、水上地区や尾先地区を含めた全体の対応が必要だ。地域から要望のある駅前ロータリーを優先して行う。

**質問** 平成17年12月、平成19年12月の議会では、整備はバイパス工事と周辺土地利用との整合を図り推進すると答弁している。バイパスはあと1年で完成するが、町の計画はできているか。

**答弁** 地域要望と町の計画をマッチングした東山北駅を中心としたまちづくりの方向性を出した。21年度に住民と意見交換をする組織づくりを考える。

**質問** 地域要望と町の計画を整合するのは簡単だが、地権者の理解と協力を得ることが大切だ。

**答弁** 誠意をもって対応すれば協力をいただけると思う。

**質問** 第4次総合計画の実施計画に反映すべきと思うがどうか。

**答弁** 反映します。

**質問** 東山北停車場線の三菱ガス化学付近の混雑解消に対する考えはどうか。

**答弁** 地域からの苦情が多く出されており、大口径差点の改良と松田用水にふたを架け、道路を拡幅する計画案を県にお願いしている。

**質問** 企業進出が発表されて久しいトオカツフーズの進出が山北町で一番早い企業誘致だと思いが町はどう取り組んでいるか。

**答弁** 2年程前に取り掛かる計画であったが遅れており、今年3月か4月に今後のスケジュールが提出され、説明を受ける予定です。都市ガス工事の遅れが延びた原因ではない。



本杉 博是議員

# まちづくり

## Q ▶ 町の人口増の取り組みについて

## A ▶ 定住対策に専門部署を設置し取り組みます

**質問** 第2次土地利用計画で将来人口を減らしているが、本庁舎から離れた集落に影響が出ない考え方で決定されたのか。

**答弁** 三保、清水、共和、高松も山間地域への住宅、宅地の誘導や産業交流の振興、企業立地の促進など各エリアごとに住居系、産業系の位置付けをしているので許認可手続きを経、住宅開発は可能です。人口目標は将来計画に影響ない考え方で計画しています。

**質問** 山北駅前商店街の活性化について。

**答弁** 商店街や町民の声を聞き「定住総合対策事業大綱」を踏まえて21年度より商店街の問題を始め、住宅対策など定住対策に取り組んでいきたいと考えております。

**質問** 地デジ移行に向け



整備された大野山中継局

た大野山中継局の整備工事の進捗状況について。

**答弁** 平成21年4月の開局に向けて順調に進行しています。3月17日から試験電波の送信を開始し、予定どおり4月1日には開局できる予定です。清水、三保地区も含めて全町にデジタル放送が受信できる事になります。一般家庭ではデジタルテレビやチューナーで視聴可能ですが、共聴施設は改修が必要な箇所があります。試験電波を受け調査を実施し改修が必要な場合には、自己資金で改修する方向で調整しています。

**質問** 新東名道路関連事業が町内業者に受注できるよう要望すると同時に地元商業振興と企業育成の考えは。

**答弁** 機会あるごとに地域の活性化と地元産業の振興につながる新東名工事となる様に関係機関への要望活動を積極的に続けていきます。

\* 従来「第2東名」と呼んでいましたが21年4月から「新東名」と名称が変更されました。

## 審議した議案と議員の賛否

### 平成 21 年第 1 回臨時会

議案番号	議案	議員名 (議席順)	結果	佐藤	湯川	川村	熊澤	池谷	石田	杉本	本杉	茂木	瀬戸	岩本	牧田	小菅
				光男	裕司	俊治	友子	庄次郎	進二	君雄	博是	猛	恵津子	章治	礼二	光雄
発議 1	専決処分の承認について (平成 20 年度山北町一般会計補正予算 (第 6 号))		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 平成 21 年第 2 回臨時会

1	平成 20 年度山北町一般会計補正予算 (第 7 号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	平成 20 年度中山間地域総合整備事業浅間山農道整備工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	平成 20 年度滝沢・高松作業道整備工事 (第 1 工区) 請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	平成 20 年度滝沢・高松作業道整備工事 (第 2 工区) 請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、●は反対を表しています。細川哲郎議長は、採決に加わりません。

